

- ⑤ 「ドア」を開めます。
※「ドア」が確実に閉まっていることを確認してください。
- ⑥ 「スタートスイッチ」を押して、運転を開始します。
(運転中は「スタートスイッチ」が点灯しています)
※ 加熱殺菌 60 分、殺菌灯点灯冷却 15 分の合計 75 分が運転時間です。
※ 殺菌灯は運転開始時には点灯しません、冷却時に点灯します。
※ 運転中に「ドア」を開けると、運転を中止します。
※ 運転を再開するには、「ドア」を閉め、再度「スタートスイッチ」を押してください。

- ⑦ 運転が終了すると自動的に停止します。
(「スタートスイッチ」が消灯します)

● お手入れのしかた

◇ 本体のお手入れ

- 水、又は中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、乾いた布でふき取ってください。
※ クレンザーや漂白剤は使用しないでください。

◇ 殺菌灯交換の目安 (消毒効果時間は 9000 時間)

- 一日 3 回使用で 5 年に 1 度交換してください。(365 日/年使用の場合)
- 一日 5 回使用で 3 年に 1 度交換してください。(365 日/年使用の場合)

● 故障かな? と思ったら

運転しない	・「電源プラグ」がコンセントに確実に差し込まれていますか → 「電源プラグ」をコンセントに正しく差し込んでください
乾燥が悪い	・「取扱説明書」にしたがって収納していますか → 哺乳瓶は「哺乳瓶用バスケット」に、下向きに載せてください → 乳首等の付属品は、重ならないように十分な間隔をあけ、「付属品用バスケット」に載せてください ・「吸気口」、「排気口」と壁面等との間隔は十分あいていますか → 右側、後側の間隔を 5cm 以上あけてください

● 仕様

品名	Clear Baby Bottle (クリアベビーボトル)
形式	CBB-1500
定格	AC100V 50/60Hz (消費電力 約 520W)
庫内殺菌温度	90°C
寸法	幅 480 mm X 奥行 295 mm X 484 mm
収納	哺乳瓶: 15 本 乳首: 15 個
重量	22kg

製造元: 日本カーヴィング株式会社
〒173-0004 東京都板橋区板橋 1-48-2 阿部ビル
TEL: 03-6909-8196 FAX: 03-6909-8296

取扱説明書

哺乳瓶殺菌乾燥保管庫 Clear Baby Bottle

型式名 CBB-1500

このたびは、クリアベビーボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保存し、必要なときにお読みください。

もくじ	● 安全のためにお守りください	1
	● 各部の名称とはたらき	2
	● 設置の方法	3
	● 運転のしかた	3
	● お手入れのしかた	4
	● 故障かな? と思ったら	4
	● 仕様	4

- 安全のためにお守りください

【警告】

- ☆ アルコールやシンナー等の引火性溶剤の近くに設置しないこと
《引火の危険があります》
- ☆ 分解や改造を絶対にしないこと
《火災、感電、故障、けがの原因になります》
- ☆ 「吸気口」、「排気口」、その他すべての開口部に、針金などの金属類を差し込まないこと
《感電のおそれがあります》
- ☆ 万一、発煙、異臭などの異常時には「電源スイッチ」を切り、次に「電源プラグ」をコンセントから引き抜き、その後、販売店まで連絡すること
《そのまま運転を続けると、火災、感電のおそれがあります》
- ☆ 運転の途中で「ドア」を開けた場合は、「内壁」や「バスケット類」の金属部分にさわらないこと
《やけどのおそれがあります》
- ☆ 電源は AC100V のコンセントから単独で使用する
《これ以外の電源を使用すると、火災、感電、故障の原因となります》
- ☆ お手入れをするときは、「電源プラグ」をコンセントから抜くこと
《感電や、けがの原因となります》
- ☆ 「電源プラグ」や「電源コード」を傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと
《火災や感電の原因となります》
- ☆ 「アース端子」から、アースを必ずとること
《アースをとらない場合、火災や感電の原因になることがあります》

【注意】

- ☆ 「吸気口」や「排気口」をふさがないこと
《乾燥性能の低下や、故障の原因となります》
- ☆ 「電源プラグ」を抜くときは、「電源コード」の部分を持って引き抜かないこと
《「電源プラグ」が破損し、感電、ショート、火災の原因になります》
- ☆ 使用しないときは、「電源プラグ」をコンセントから抜いておくこと
《絶縁劣化による、感電、漏電、火災の原因となります》

◆ 本機の特長

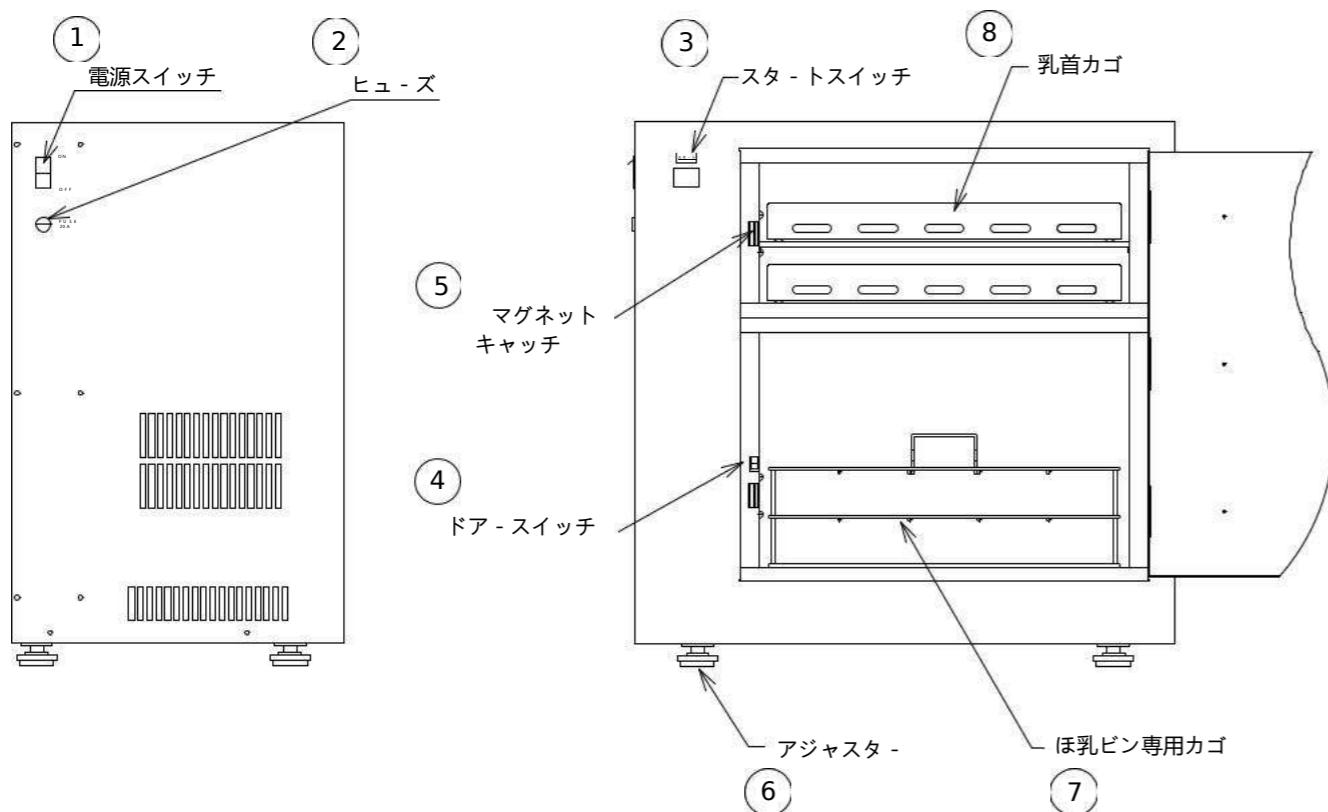
- 1) ファンとセラミックヒーターにより作り出された遠赤外線熱風(90～95℃)を庫内を循環させ、殺菌/乾燥を行います。
- 2) 洗浄したほ乳ビン及び乳首を庫内に入れた後、ワンタッチ(スタートボタンを押すだけ)で全ての動作を自動的に行います。
(庫内温度上昇→乾燥→加熱殺菌→UV照射→冷却)
- 3) 温度設定/時間設定はコントロール基板上に可変式のスイッチを保有し、最適の温度/最適時間の設定が出来ます。
(注: 製品は現状での、最適の状態に設定されております)

◆ 付属品

- 1) ほ乳ビン専用カゴ: 1個
- 2) 乳首カゴ: 2個

◆ 各部の名称と機能

- ① 電源スイッチ: 本機の電源をON, OFFします。
- ② ヒューズ: 過電流防止用
- ③ スタートスイッチ: 押すと殺菌及び乾燥を開始し、動作表示灯が点灯(緑色)します。
- ④ ドアスイッチ: ドア開閉の確認スイッチです。
(開扉中はスタートスイッチを押しても動作しません)
- ⑤ マグネットキャッチ×2: ドアを密閉ロックします。
- ⑥ アジャスター: 本体の高さを調整します。
- ⑦ ほ乳ビン専用カゴ: ほ乳ビンを(15本)入れます。
- ⑧ 乳首カゴ×2: 乳首及び付属品を入れます。



左側面図

正面図

● 設置の方法

次のことに注意して設置してください。

- ☆ 丈夫で水平なところを選んで設置してください。
(転倒防止および機器の振動防止のためです)
- ☆ アルコールやシンナー等の引火性溶剤の近くに設置しないでください。
(引火による火災防止のためです)
- ☆ 本機の右側、後側は、間隔を5cm以上あけてください。
(「吸気口」や「排気口」をふさぐと、本来の性能が発揮できません)
- ☆ アースを必ずとってください
(万一の漏電の場合の、感電事故を防ぐためです)
- ☆ 他の電子機器、電気器具からは、50cm以上はなして設置してください。
(ノイズによる誤動作を防止するためです)

● 運転のしかた

- ① 「電源プラグ」を100V用コンセントに差し込みます。
- ② 「電源スイッチ」をONにします。
(この状態では、まだ運転を開始しません。)
- ③ 哺乳瓶を「哺乳瓶用バスケット」の上に載せます。
※ 哺乳瓶は下向きにして載せてください。
(上向きに載せると、乾燥が悪くなります)

※ 必ず「哺乳瓶用バスケット」を使用してください。
(使用しない場合、乾燥が悪くなります)

※ 哺乳瓶の最大収納数は15本です。

※ 「哺乳瓶用バスケット」は庫内の下段に収納します。
- ④ 乳首、キャップ、フードなどの付属品を2個の「付属品用バスケット」に分けて載せます。
※ 庫内に収納したときに、付属品が内壁に触れないように注意して「付属品用バスケット」に載せてください。(十分な乾燥ができないことがあります)

※ 乾燥熱風がよく通るように、付属品同士に、十分なすき間をあけて並べてください。
(十分な乾燥ができないことがあります)

※ 必ず「哺乳瓶用バスケット」を使用してください。
(使用しないで、じかに収納した場合、付属品が劣化することがあります)

※ 「付属品用バスケット」は、1つを「仕切板」の上に収納します。